

令和7年度大津市医師会立看護専修学校事業報告

1. 令和7年度 重点目標

- (1) 大津市医師会が公益事業の一環として設置運営する准看護師養成所であることを広く啓発し地域医療の一翼を担う強い意志のある生徒の確保に努める。
- (2) 生徒が学校生活で、色々な立場の人々との交流を深め、准看護師の資格取得を目指すとともに、広く地域の医療及び保健分野で貢献できる有能な人材を育成するため、生徒指導の充実・強化に努める。
- (3) 安全で安心して学べる教育環境の創出並びに生徒の学習環境の整備を推し進め、教育内容の充実に努める。
- (4) I Tの積極的な活用により事務の合理化や経費の節減を図るなど効率的、効果的な予算執行に努め、安定した学校経営を目指す。
- (5) 感染症パンデミックや自然災害等リスク管理を怠らぬ学校運営を日々目指すとともに、生徒と教職員のために相談窓口を設け、こころの健康の保持に努める。

2. 令和7年度 事業報告

国は、新型コロナウイルス感染症を5類感染症へ移行後、感染対策については個人および事業者の自主的な判断に委ねる方針を示しており、令和7年度においても各種感染症の動向を注視しながら社会活動が行われました。大津市においては、インフルエンザをはじめとする感染症の流行が見られ、本会においてもその対応に取り組んでまいりました。

このような状況のもと、本校におきましては、卒業式・入学式をはじめとする各種行事を通常どおり参集形式で実施するとともに、手洗い・換気・咳エチケット等の基本的な感染予防対策を継続し、学生および教職員の健康管理に十分配慮しながら、教育計画に基づく授業および臨地実習を円滑に実施いたしました。

また、感染症の動向を踏まえ、関係機関と連携のうえ、必要に応じた適切な対応を講じるなど、安全・安心な教育環境の確保に努めてまいりました。

さらに、学生および教職員の心身の健康保持に配慮し、「こころの相談窓口」を継続して開設するなど、安心して学び、働くことができる環境づくりに取り組みました。

一方で、近年は少子化の影響等により学生数の減少傾向が続いており、看護人材の確保は全国的な課題となっております。国および日本医師会においても人材確保に向けた各種支援方針が示されているところです。

本校といたしましても、従来の募集要項の配布に加え、生徒募集に係る啓発用ポスター等を活用し、大津市医師会員をはじめ関係機関への周知を図ることにより、安定した入学者確保に努めました。

引き続き、地域医療を支える人材の育成に積極的に取り組むとともに、学校運営への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(1) 教育計画に基づく授業

- ・講義時間 1,188 ⇒ 1,175 時間
- ・実習時間 816 ⇒ 794.25 時間
- ・准看護師資格試験(令和8年 2月 1日(日)) ピアザ淡海にて 9名受験 9名合格

(2) 式典の挙行

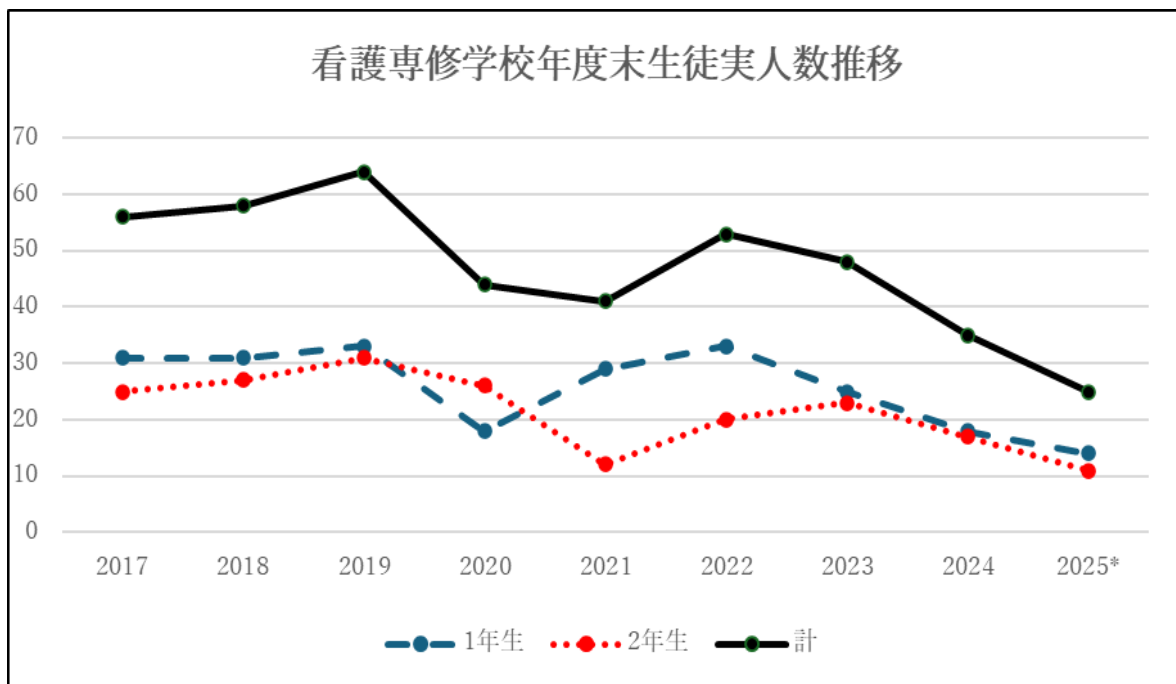
- ・入学式 令和7年 4月 4日(金) 午後2時 ~ 琵琶湖ホテルにて(14名入学許可)
- ・戴帽式 令和7年11月14日(金) 午後2時 ~ 琵琶湖ホテルにて(13名戴帽)
- ・卒業式 令和8年 3月 2日(月) 午後2時 ~ 琵琶湖ホテルにて(9名卒業)

(3) 生徒募集

- ・推薦入学 募集期間 令和7年11月 4日(火) ~ 14日(金)
- 入学試験 令和7年11月22日(土) 午後1時 ~ 於:本校
- 入試判定会議 令和7年11月28日(金) 午後2時 ~ 於:本校会議室
- 3名受験 3名合格

・年度末生徒の現状・.....→ 1年生14名 2年生11名

・生徒数の動向



年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025*
1年生	31	31	33	18	29	33	25	18	14
2年生	25	27	31	26	12	20	23	17	11
計	56	58	64	44	41	53	48	35	25

* 2025 は 2026/3/31 現在の生徒実人数

以上